

光市記者発表資料

平成28年5月19日

件名

ニジガハマギクを育てよう(さし芽作業)

内容

1. 目的

光市立浅江小学校に隣接している、潮音寺山(標高62.3m)の整備を進めてきましたが、潮音寺山に自生しているニジガハマギクが減少しているため、浅江小学校の4年生4クラス(127名)の総合的な学習時間を利用して、さし芽によって増やし、児童とのふれあう機会を大切にして自生地を復活させる。

浅江小の校章は昭和32年にニジガハマギクをデザイン化し図案化したものが使用されています。

2. 日時

平成28年6月2日(木) 14:00~15:30(5,6時限)

3. 場所・方法

光市立浅江小学校体育館横

ビニールポット(黒色・直径約10cm)にさし芽をして学校で育苗後、秋に潮音寺山の自生地に移植する。(ニジガハマギクの紙芝居の上演も行う。)

4. 指導者

潮音寺山里山づくり推進部部員及び浅江地区コミュニティ協議会役員

光紙芝居、浅江小学校PTA

5. ニジガハマギクの由来について

室積女子師範の教師だった池田良成先生の調査研究によって牧野博士に知られることになり昭和7年に牧野富太郎博士の発表による。

命名は、ニジガハマに自生することから。

昭和15年に光海軍工廠ができ、光駅と改名されたが、それまでは虹ヶ浜駅とよばれていたように、当時は、ニジガハマの地名は、今より一般的だったと思われる。美しい地名がついたノギクなので、各地からわざわざ光を訪れる山野草の愛好家もいる。

6. 実施主体

浅江地区コミュニティ協議会

やまもと ようじ

潮音寺山里山づくり推進部

部長

山本 洋治

問合せ

担当 浅江コミュニティセンター

かねざき ひとし

担当者 兼崎 人士

電話 0833-72-1438